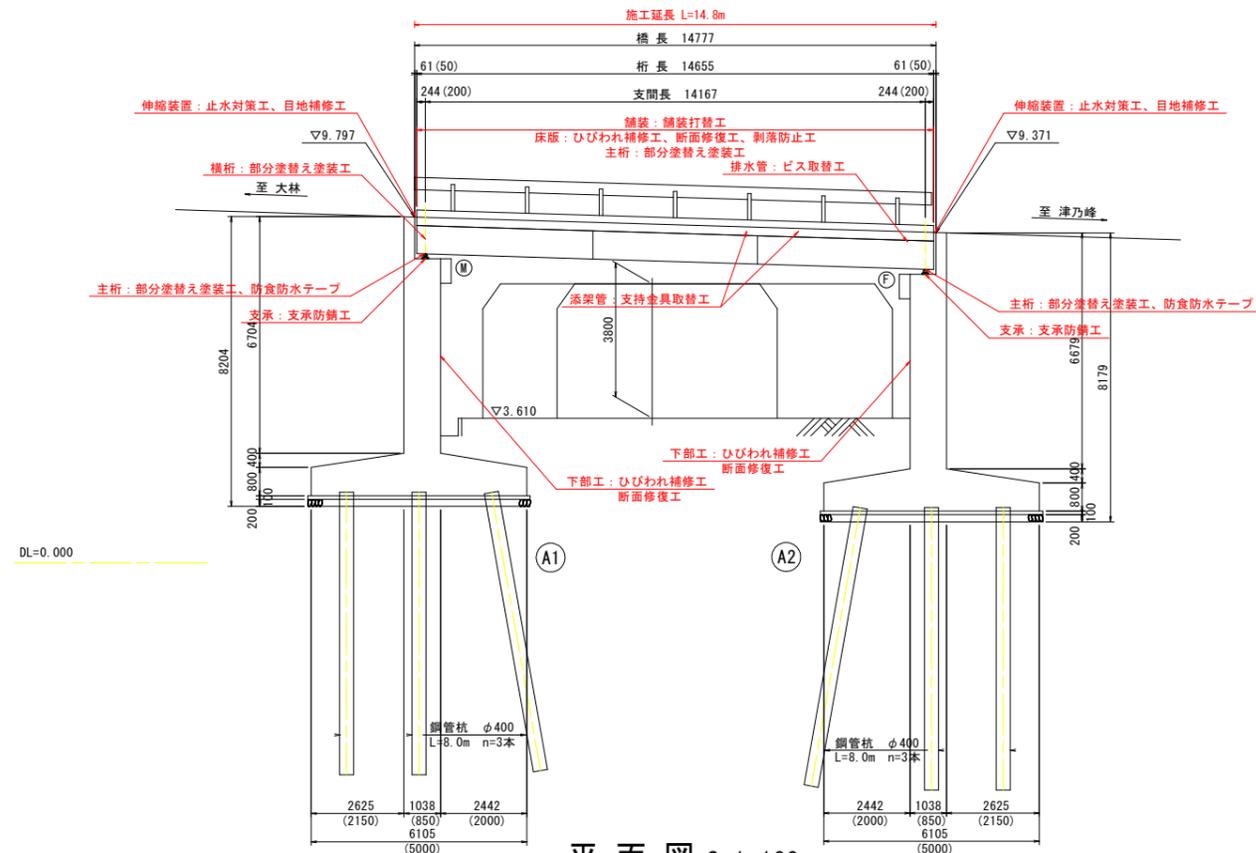
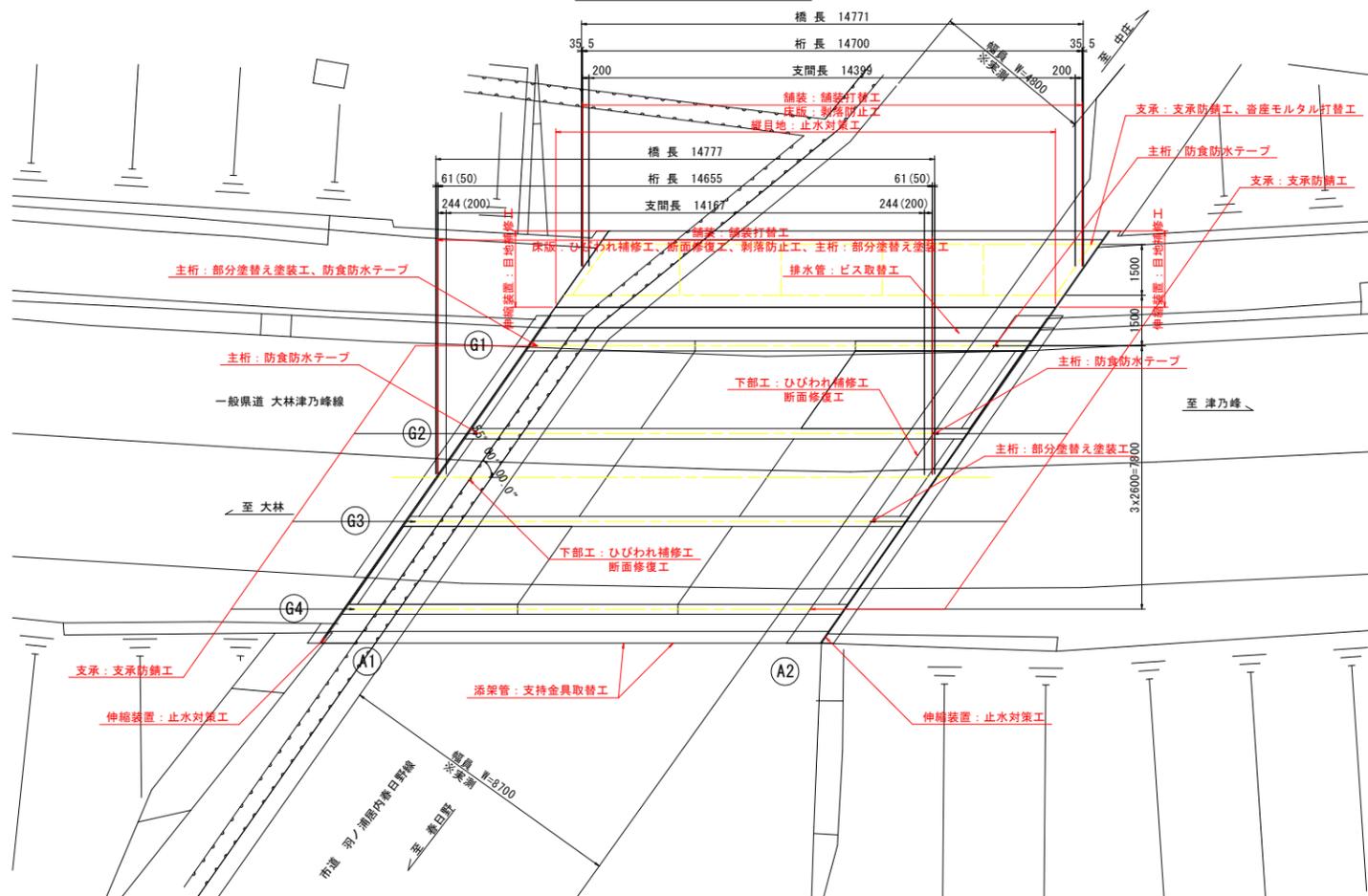


羽ノ浦第三橋補修一般図

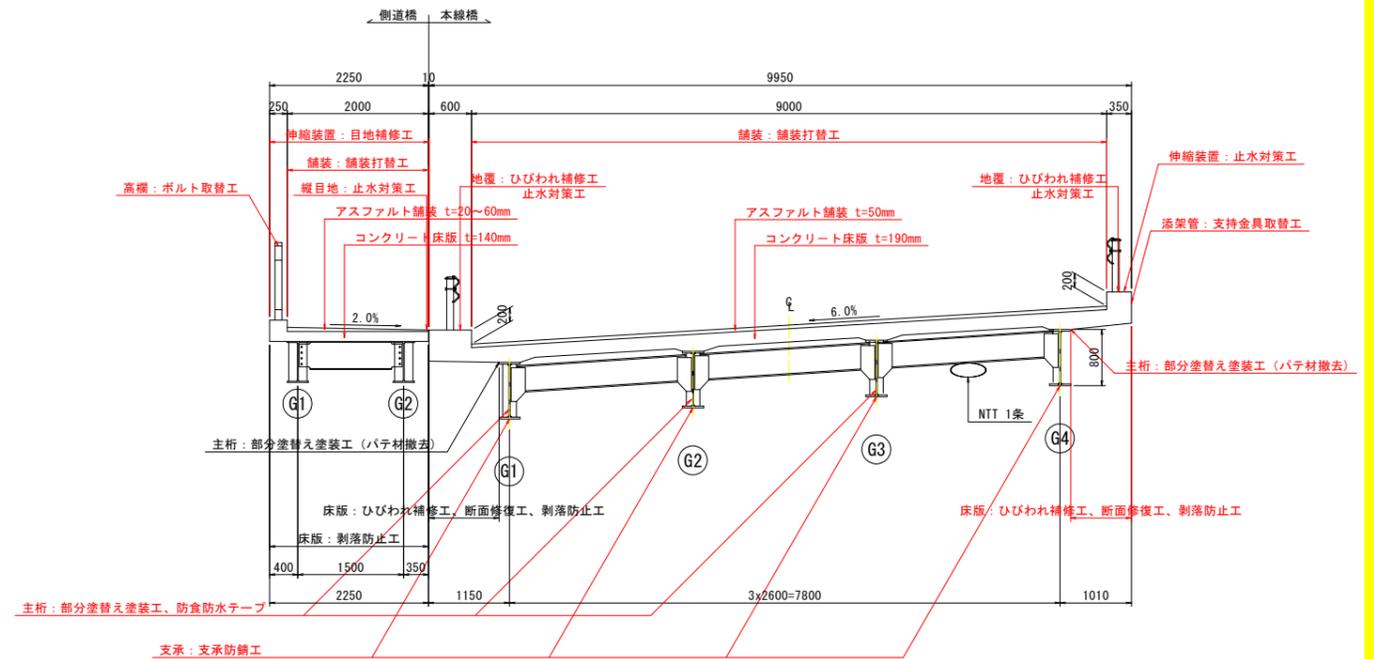
側面図 S=1:100



平面図 S=1:100



断面図 S=1:50



補修項目 (本線橋)

対象箇所	対象部位	補修工法
橋面工	舗装	舗装打替工
	伸縮装置(地覆)	止水対策工
	縦目地	止水対策工
上部工	主桁	部分塗替え塗装工
		防食防水テープ
	支承	支承防錆工
	床版	ひびわれ補修工 断面修復工 剥落防止工
下部工	胸壁	ひびわれ補修工 断面修復工
	縦壁	ひびわれ補修工
排水装置	排水管	ビス取替工
添架物	支持金具	支持金具取替工

補修項目 (側道橋)

対象箇所	対象部位	補修工法
橋面工	舗装	舗装打替工
	伸縮装置	目地補修工
上部工	支承	支承防錆工
		管座モルタル打替工
下部工	梁部	ひびわれ補修工
高欄	笠木	ボルト取替工

注記

- 一般図は、竣工図および道路台帳付図を参考に作成。
- 市道は、拡幅されていたため実測結果を反映している。

実施設計図面

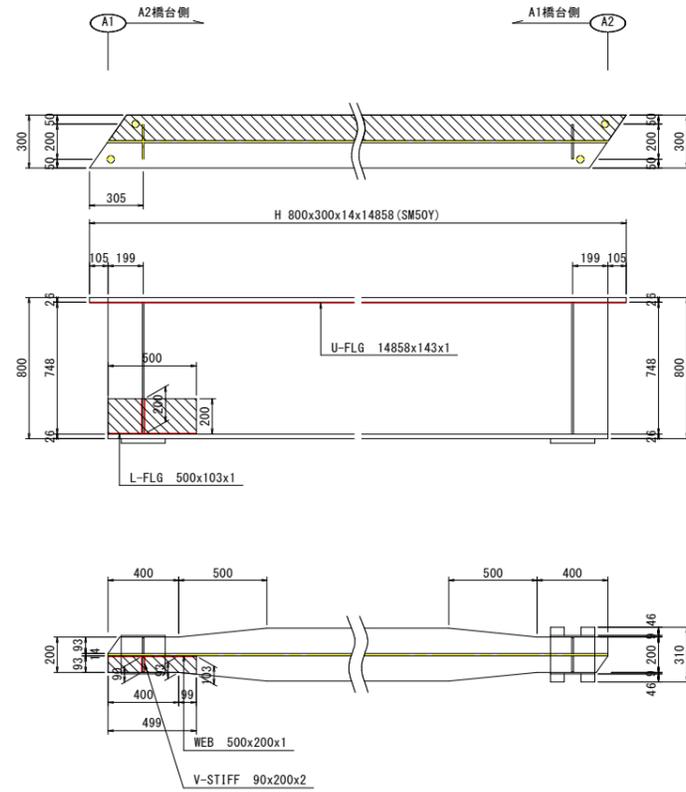
工事名	R7市道 大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋) 阿南・羽ノ浦 橋梁補修工事
路線名等	大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋)
工事箇所	阿南市羽ノ浦町宮倉
図面名	羽ノ浦第三橋補修一般図
縮尺	図示 図面番号 1 / 10
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部(阿南)

補修詳細図(その1) S=1:20

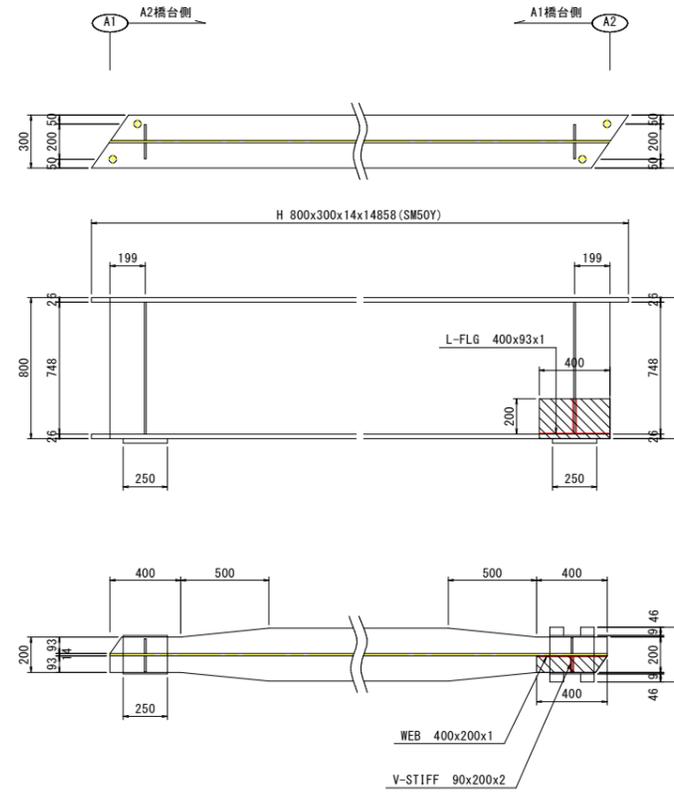
〈主桁補修工〉

部分塗替え塗装工

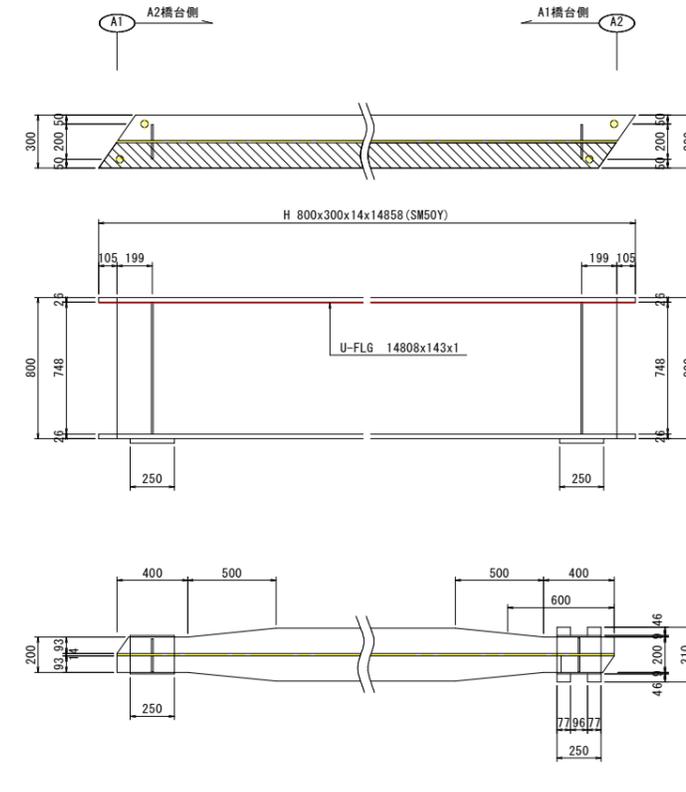
G1桁



G3桁

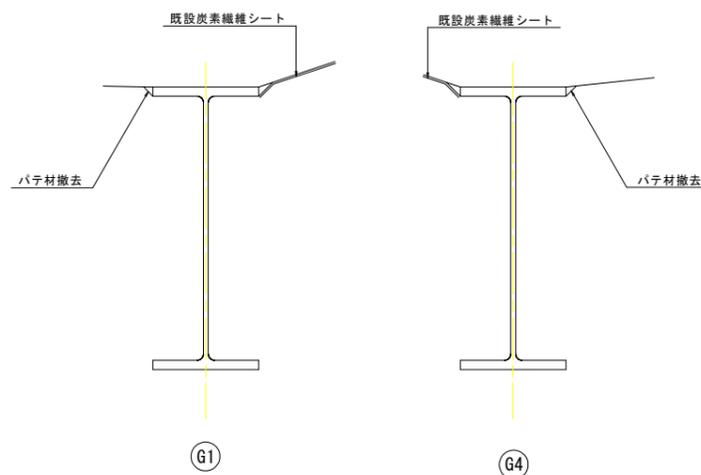


G4桁

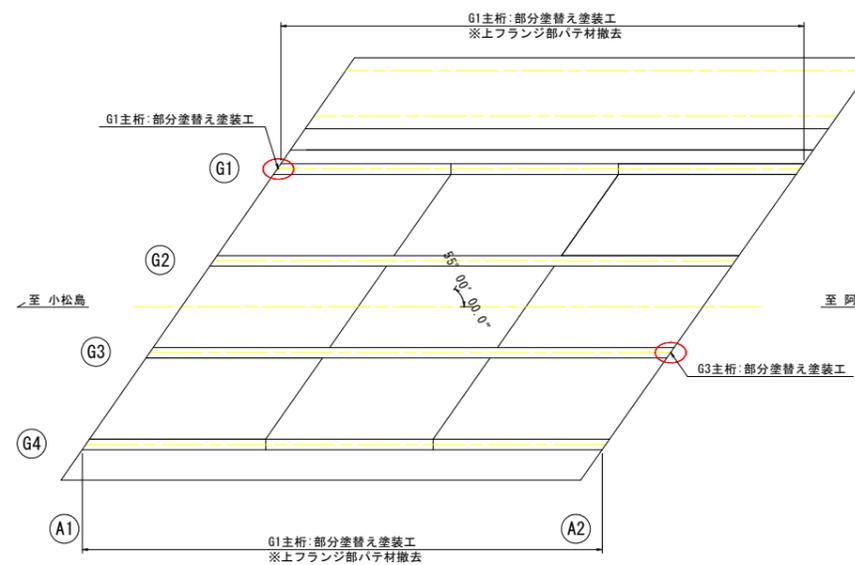


: 防食防水テープ貼付部

主桁上フランジ部パテ撤去工



位置図



Rc-1 塗装系

塗装系	塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
Rc-1	素地調整	1種	-	4時間以内
	防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
	下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
	下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	170	1日~10日
	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

実施設計図面

工事名	R7 阿南 大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋) 阿南・羽ノ浦 橋梁補修工事		
路線名等	大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋)		
工事箇所	阿南市羽ノ浦町宮倉		
図面名	補修詳細図(その1)		
縮尺	1:20	図面番号	2 / 10
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部(阿南)		

注記

1. 施工にあたっては現場の調査計測を行い、寸法については必要に応じて変更のこと。
2. 使用材料については、発注者と協議の上決定すること。
3. ケレンは、プラストライカー工法を想定。
4. G1、G4主桁の上フランジの外側においては、パテ材が設置されている。撤去した上で塗装塗替えを行うこと。

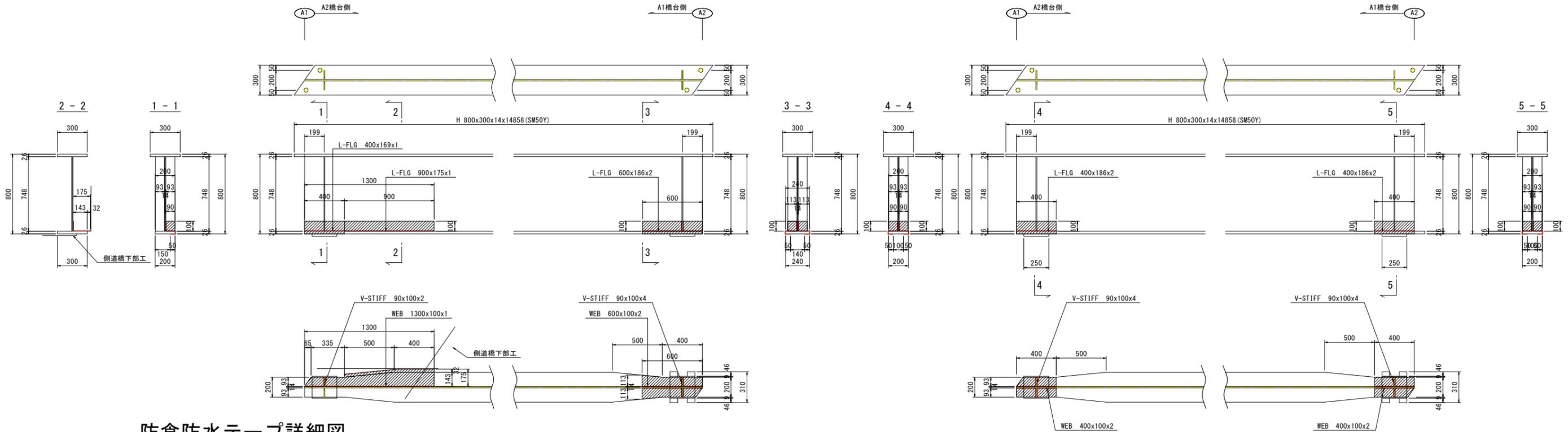
補修詳細図(その2) S=1:20

〈主桁補修工〉

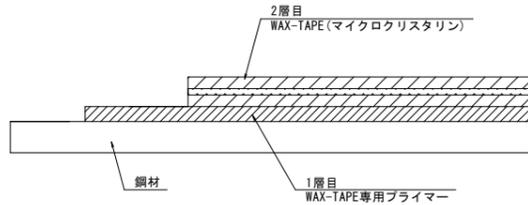
防食防水テープ設置工

G1桁

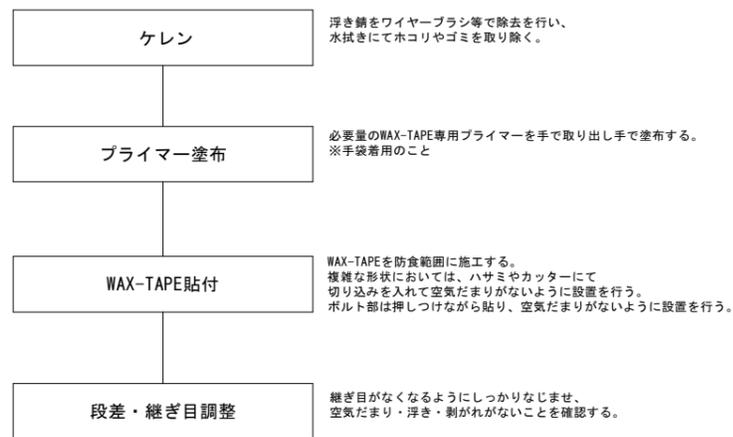
G2桁



防食防水テープ詳細図



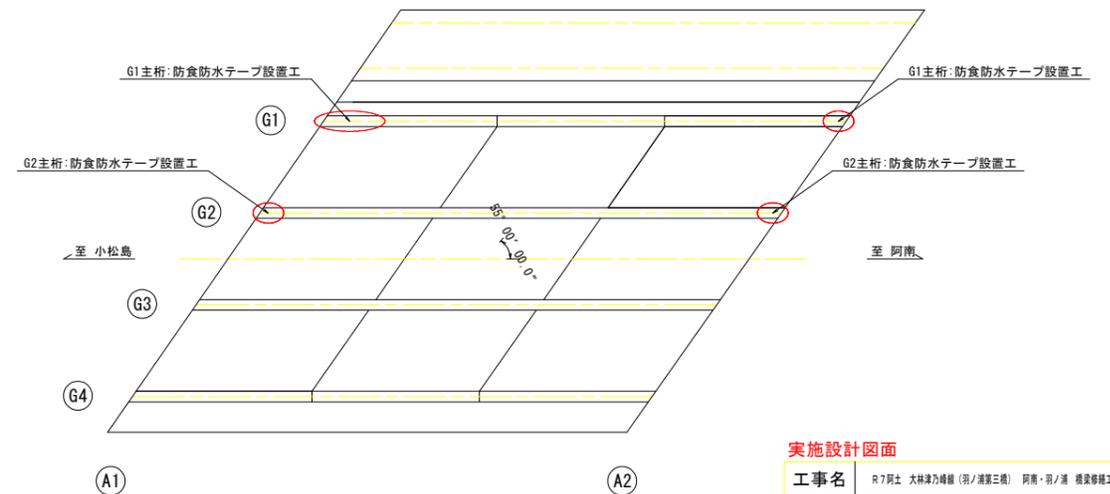
防食防水テープ施工フロー



防食テープ 設置数量表

部位名	サイズ (mm)	面積 (m ²)	枚数	小計 (m ²)
A1橋台G1主桁				
① WEB	1300 x 100	0.130	1	0.130
② L-FLG	900 x 175	0.158	1	0.158
③ L-FLG	400 x 169	0.068	1	0.068
④ V-STIFF	90 x 100	0.009	2	0.018
			小計	0.374
A2橋台G1主桁				
① WEB	600 x 100	0.060	2	0.120
② L-FLG	600 x 189	0.113	2	0.226
③ V-STIFF	90 x 100	0.009	4	0.036
			小計	0.382
A1橋台G2主桁				
① WEB	400 x 100	0.040	2	0.080
② L-FLG	400 x 169	0.067	2	0.134
③ V-STIFF	90 x 100	0.009	4	0.036
			小計	0.250
A2橋台G2主桁				
① WEB	400 x 100	0.040	2	0.080
② L-FLG	400 x 169	0.067	2	0.134
③ V-STIFF	90 x 100	0.009	4	0.036
			小計	0.250
			合計	1.256

位置図



実施設計図面

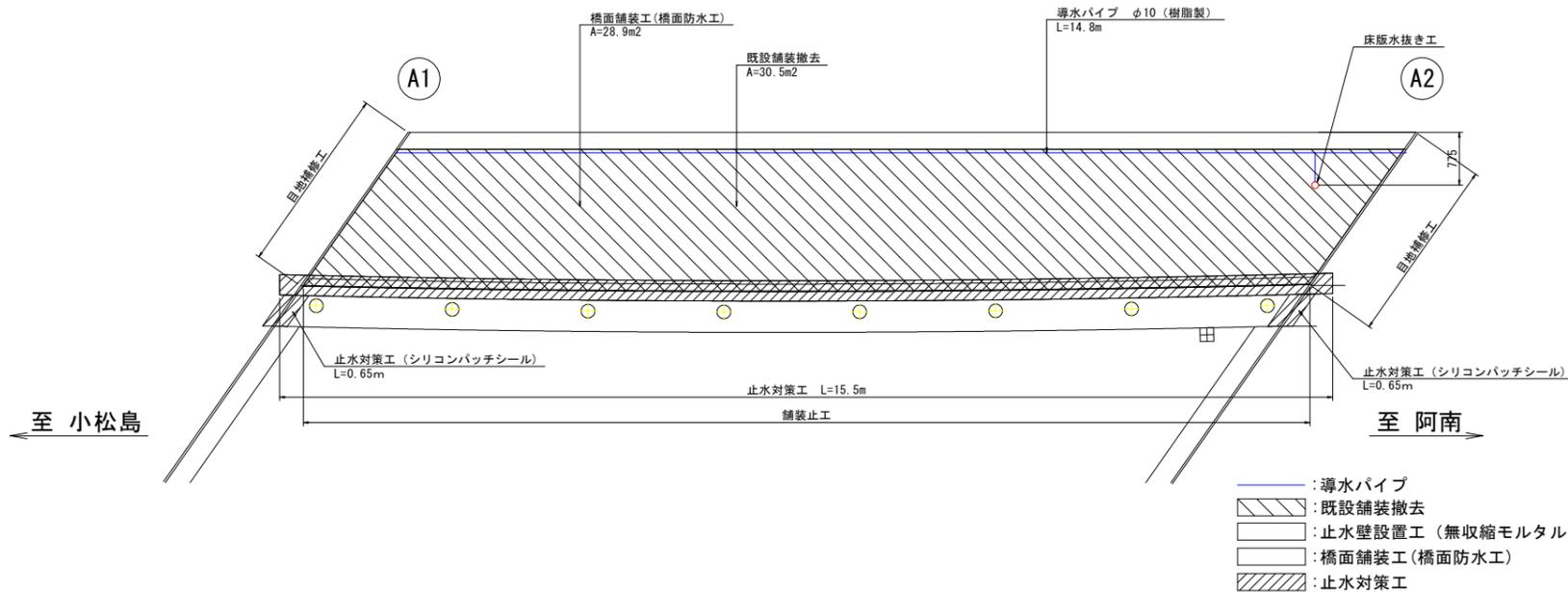
工事名	R7既土 大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋) 阿南・羽ノ浦 橋梁補修工事
路線名等	大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋)
工事箇所	阿南市羽ノ浦町宮倉
図面名	補修詳細図(その2)
縮尺	1:20 図面番号 3 / 10
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部(阿南)

注記)
1. 施工にあたっては現場の調査計測を行い、寸法については必要に応じて変更のこと。
2. 使用材料については、発注者と協議の上決定すること。

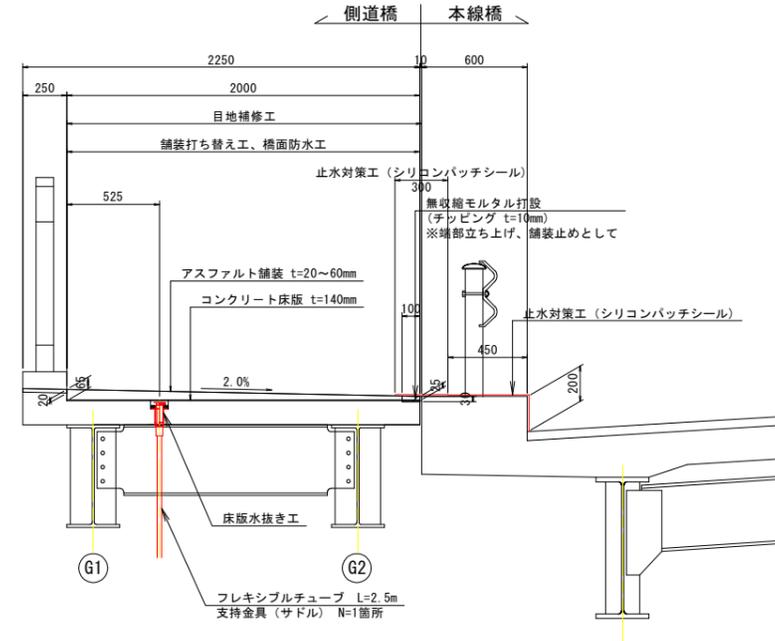
補修詳細図(その4) S=1:50

橋面補修工：側道部

平面図

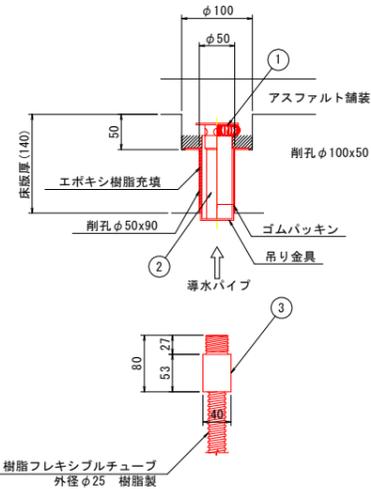


断面図 S=1:20

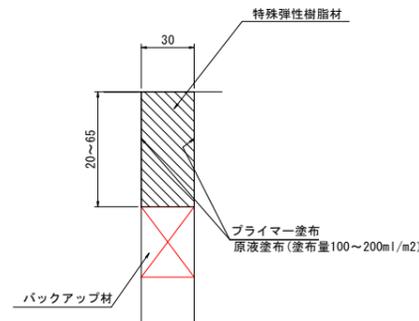


床版水抜き工詳細図 S=1:5

箇所数：1箇所



目地補修工詳細図 S=1:2



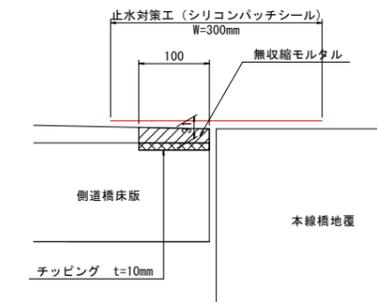
目地補修工材料表(同等品)

地点	幅 (mm)	厚さ (mm)	延長 (m)	SMジョイント	プライマー	バックアップ材
				SMシール材 (特殊弾性樹脂材) (L)	1液ウレタン系 プライマー (mL)	
歩道	30	50	4.52	6.8	68	4.88
地覆	20	20	0.36	0.2	2	4.88
合計			4.88	7.0	70	4.88

工程表

工程順	工程	使用材料	用途・備考
1	下地清掃処理	養生テープ、養生シート	錆、付着物、汚れ及び旧塗膜劣化部除去 養生テープ、シート養生
2	プライマー塗布	SMプライマー	原液塗布(塗布量100~200ml/m²) 塗り残しがないように均一に塗布する。
3	目地間隙等、 すきま箇所の処理	バックアップ材	間隙、重ね等のすきま箇所については必要 に応じ、上から押して凹まないように、きつく 埋め込む。スポンジ状のバックアップ材は、 設置箇所の幅の約2倍のものを、半分に圧縮 して埋め込むようにする。
4	SMシール材充填	主剤、硬化剤、添加剤	事前に、硬化剤の袋の上から、指で押して みて、粒状になっていないかを確認。 粒状になっていたら、事前に50℃程度の温水 につけて、溶かしておくこと。 材料は残らないように十分に混ぜ合わせる。
5	表面保護	砂(珪砂5号推奨)または石粉	材料の充填後、表面に散布する。
6	養生テープはずし		シール材塗布面に養生材料が付着しないよ うに、慎重に外すこと。
7	開放		充填完了から1~3時間経過後、開放。 (硬化時間は気温により変動する)

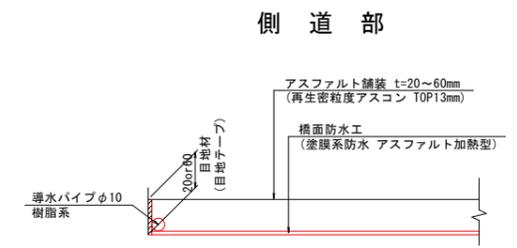
端部止水壁詳細図 S=1:5



止水対策工材料表(同等品)

品名	単位	縦目地	合計	備考
シリコンパッチシール	m	15.500	15.500	W300xL1000x17

舗装打替詳細図 S=1:5



床版水抜き工材料表(同等品)

部材名	寸法	備考
本体構成部品 ①	φ34.0 x 35 (φ60 x 2.3 t)	鋼管
本体構成部品 ②	φ42.7 x 130	鋼管
吊り金具		普通鉄板
ゴムパッキン		
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター(SUS304)
本体構成部品 ③	40.0 x 80	樹脂製
樹脂フレキシブルチューブ	外径φ25	樹脂製

実施設計図面

工事名	R7既土 大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋) 阿南・羽ノ浦 橋梁補修工事
路線名等	大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋)
工事箇所	阿南市羽ノ浦町宮倉
図面名	補修詳細図(その4)
縮尺	1:50 図面番号 5 / 10
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局農土整備部(阿南)

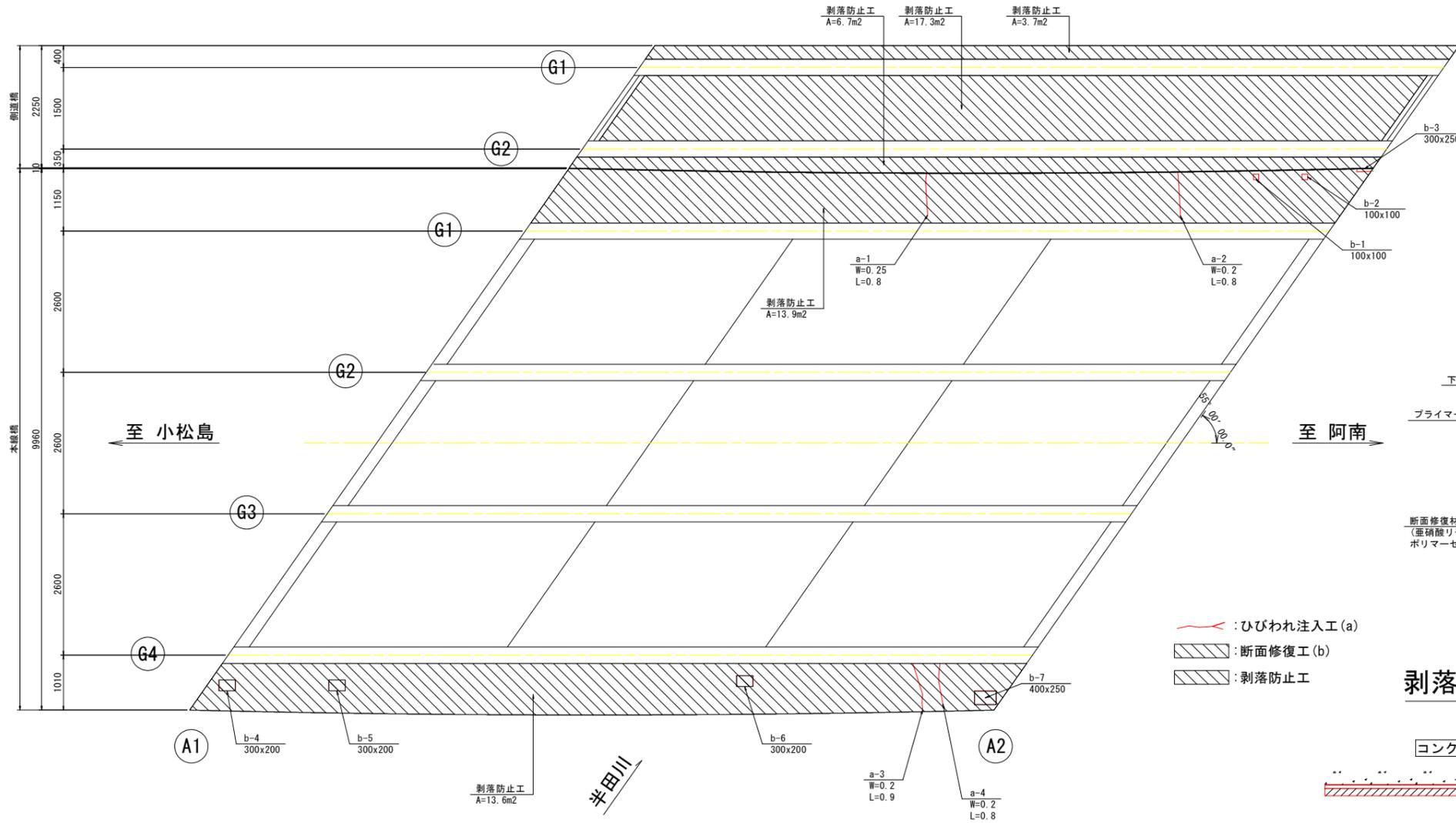
注記

1. 施工にあたっては現場の調査計測を行い、寸法については必要に応じて変更すること。
2. 使用材料については、発注者と協議の上決定すること。
3. 目地取替工については、既設目地材を撤去し道間の上も舗装を行った後、目地部分の舗装を除去し設置すること。
4. 床版水抜き工にあたっては、鉄筋探査を行った上で実施すること。ビルドアップの鉄筋に留意すること。

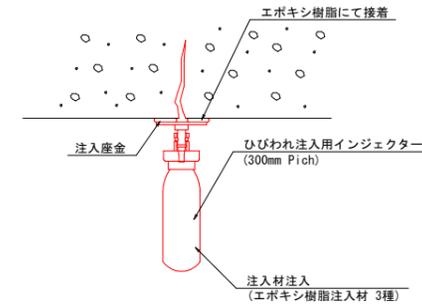
補修詳細図(その5) S:1:50

〈床版補修工〉

平面図



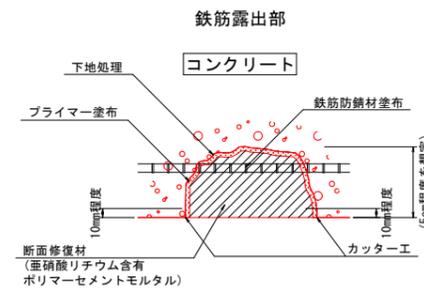
ひびわれ注入工(a)



ひびわれ注入工 (床版)

箇所	延長 (m)
a-1	0.80
a-2	0.80
a-3	0.90
a-4	0.80
合計	3.30

断面修復工(b)



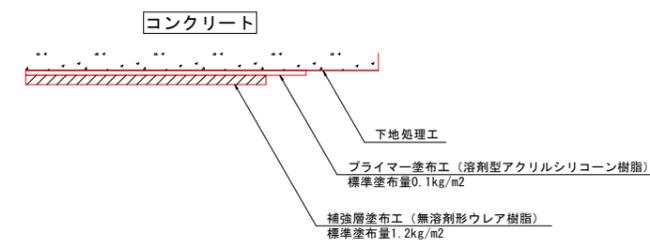
断面修復工(b)

番号	幅 (m)	長さ (m)	面積 (m2)	厚さ (mm)	体積 (m3)
b-1	0.10	0.10	0.01	0.05	0.001
b-2	0.10	0.10	0.01	0.05	0.001
b-3	0.30	0.25	0.08	0.05	0.004
b-4	0.30	0.20	0.06	0.05	0.003
b-5	0.30	0.20	0.06	0.05	0.003
b-6	0.30	0.20	0.06	0.05	0.003
b-7	0.40	0.25	0.10	0.05	0.005
合計			0.38		0.020

※表示以下の小数点は切り上げ

- : ひびわれ注入工(a)
- ▨ : 断面修復工(b)
- ▨ : 剝落防止工

剝落防止工参考図



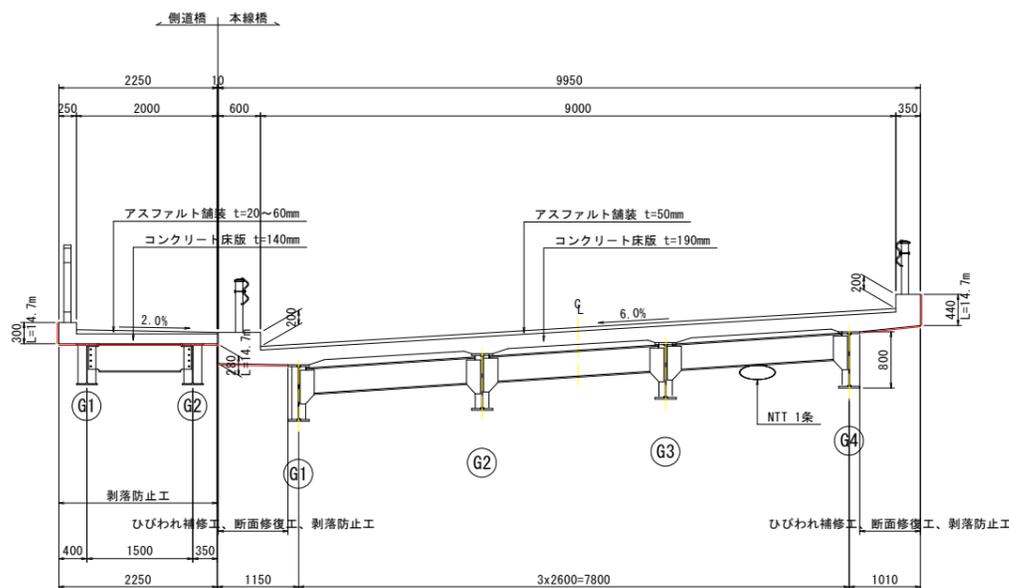
剝落防止工

箇所	面積 (m2)	
		面積 (m2)
本線橋	G1側張り出し床版	13.9
	G1側張り出し地覆	4.1
	G4側張り出し床版	13.6
	G4側張り出し地覆	6.5
側道橋	G1側張り出し床版	3.7
	G1側張り出し地覆	4.4
	G1-G2間	17.3
	G2側張り出し床版	6.7
合計	70.2	

剝落防止工数量表 (同等品)

工程	材料の種類	標準塗布量	施工方法	施工間隔(目安)
下地処理工	—	—	—	—
プライマー塗布工	溶剤型アクリルシリコン樹脂	0.1kg/m2 ^{※1}	ローラー・刷毛等	20分~
補強層塗布工	無溶剤形ウレタ樹脂	1.2kg/m2 ^{※2}	コテ等	—

※1: 塗装回数は1回。 ※2: 塗装回数は1~2回。



実施設計図面

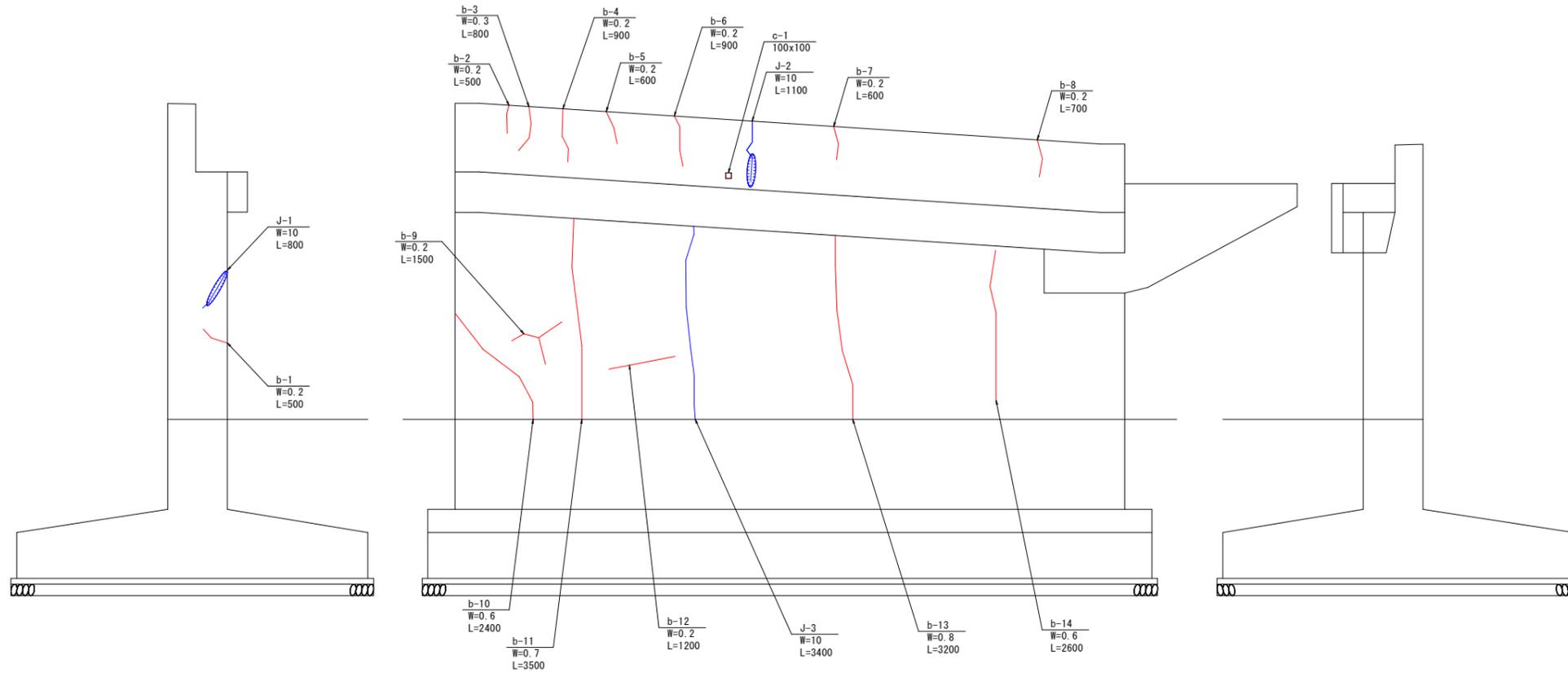
工事名	R7既土 大林津乃峰線 (羽ノ浦第三橋) 阿南・羽ノ浦 橋梁修繕工事		
路線名等	大林津乃峰線 (羽ノ浦第三橋)		
工事箇所	阿南市羽ノ浦町宮倉		
図面名	補修詳細図 (その5)		
縮尺	1:50	図面番号	6 / 10
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部 (阿南)		

注記)
 1. 施工にあたっては現場の調査計測を行い、寸法については必要に応じて変更のこと。
 2. 使用材料については、発注者と協議の上決定すること。
 3. 本線橋張り出し床版部の剝落防止工においては、前述した主桁上フランジのバテ材を撤去の上実施すること。

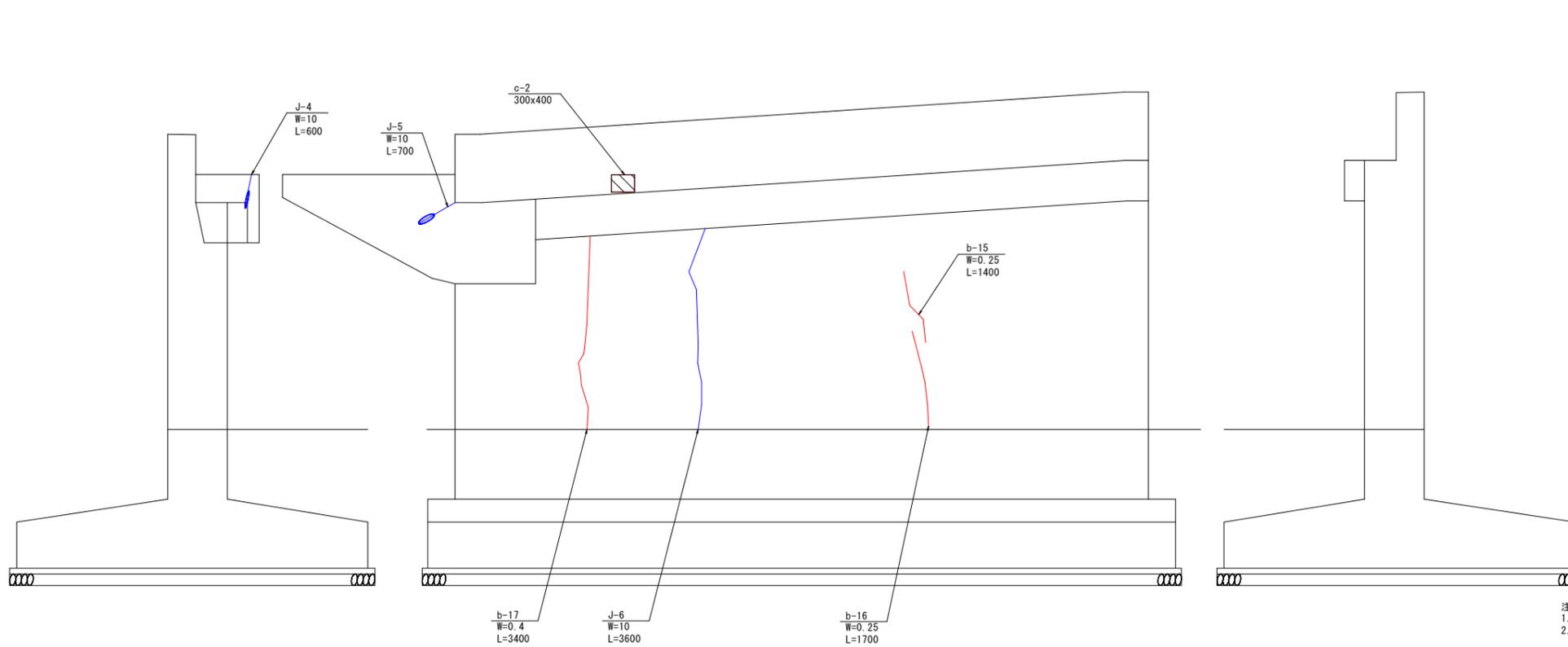
補修詳細図(その6) S=1:50

<下部工補修工>

正面図
(A1橋台)

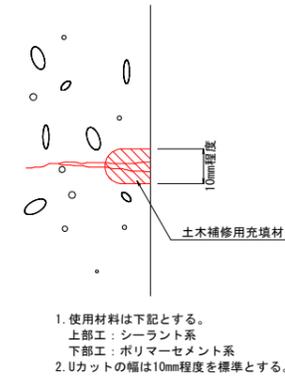


正面図
(A2橋台)



— : ひびわれ注入工 (b)
— : ひびわれ充填工
 : 断面修復工 (c)

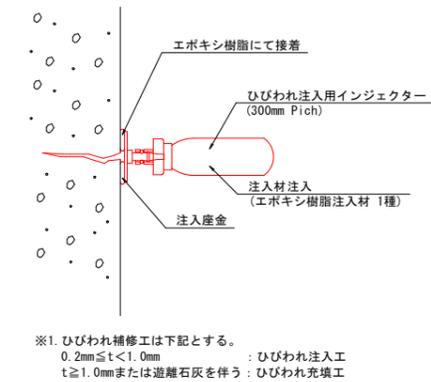
充填工法詳細図



ひびわれ充填工

箇所	延長 (m)
J-1	0.80
J-2	1.10
J-3	3.40
J-4	0.60
J-5	0.70
J-6	3.60
計	10.20

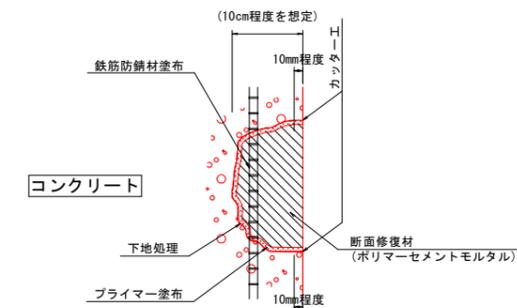
ひびわれ注入工 (b)



ひびわれ注入工 (b)

箇所	延長 (m)	箇所	延長 (m)
b-1	0.50	b-10	2.40
b-2	0.50	b-11	3.50
b-3	0.80	b-12	1.20
b-4	0.90	b-13	3.20
b-5	0.60	b-14	2.60
b-6	0.90	b-15	1.40
b-7	0.60	b-16	1.70
b-8	0.70	b-17	3.40
b-9	1.50	合計	26.4

断面修復工 (c)



断面修復工 (c)

番号	幅 (m)	長さ (m)	面積 (m ²)	厚さ (mm)	体積 (m ³)
b-1	0.10	0.10	0.01	0.10	0.001
b-2	0.30	0.40	0.12	0.10	0.012
合計			0.13		0.013

※表示以下の小数点は切り上げ

実施設計図面

工事名	R7既土 大林津乃峰線 (羽ノ浦第三橋) 阿南・羽ノ浦 橋梁補修工事
路線名等	大林津乃峰線 (羽ノ浦第三橋)
工事箇所	阿南市羽ノ浦町宮倉
図面名	補修詳細図 (その6)
縮尺	1:50 図面番号 7 / 10
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部 (阿南)

注記)
 1. 施工にあたっては現場の調査計測を行い、寸法については必要に応じて変更のこと。
 2. 使用材料については、発注者と協議の上決定すること。

補修詳細図(その7) S=1:10

〈支承補修工〉

支承防錆工

沓座モルタル打替工 側道橋A2橋台G1桁

支承形状図 (本線橋)

支承形状図 (側道橋)

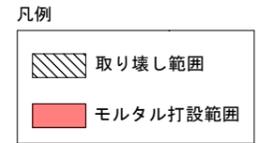
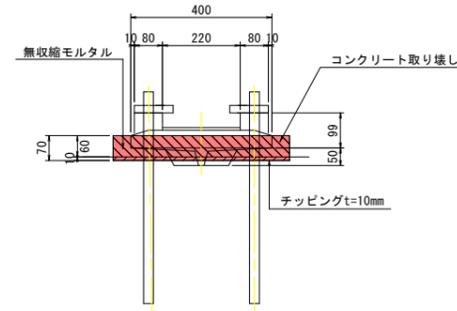
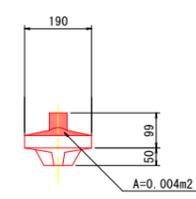
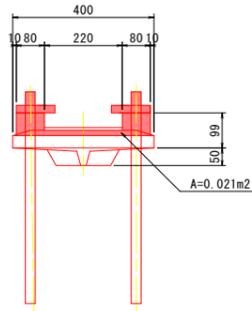
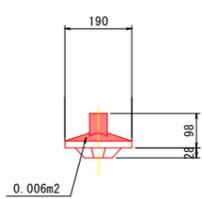
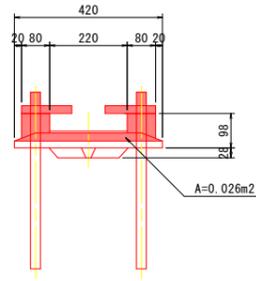
正面図

側面図

正面図

側面図

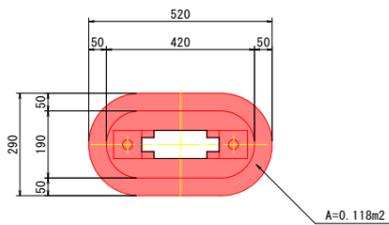
正面図



平面図

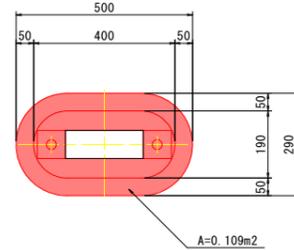
平面図

平面図



単位:基

補修箇所	支承防錆工	
	可動支承 (MOVE)	固定支承 (FIX)
A1橋台	4	-
A2橋台	-	4
合計	4	4



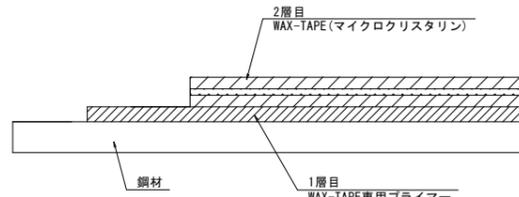
単位:基

補修箇所	支承防錆工	
	可動支承 (MOVE)	固定支承 (FIX)
A1橋台	2	-
A2橋台	-	2
合計	2	2

単位:基

補修箇所	沓座モルタル打替工	
	可動支承 (MOVE)	固定支承 (FIX)
A1橋台	0	-
A2橋台	-	1
合計	0	1

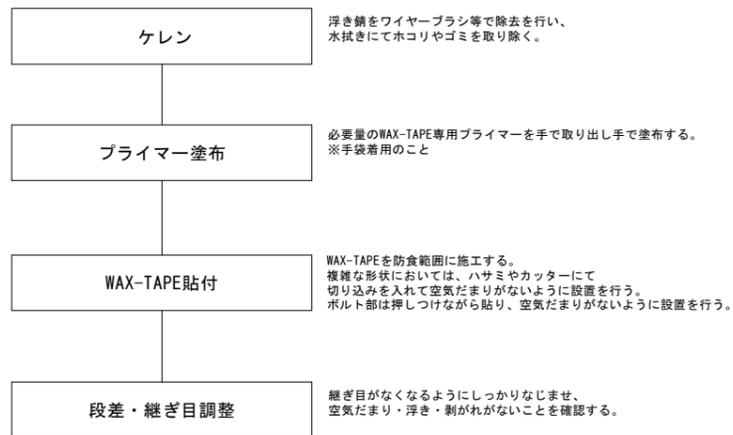
防食防水テープ詳細図



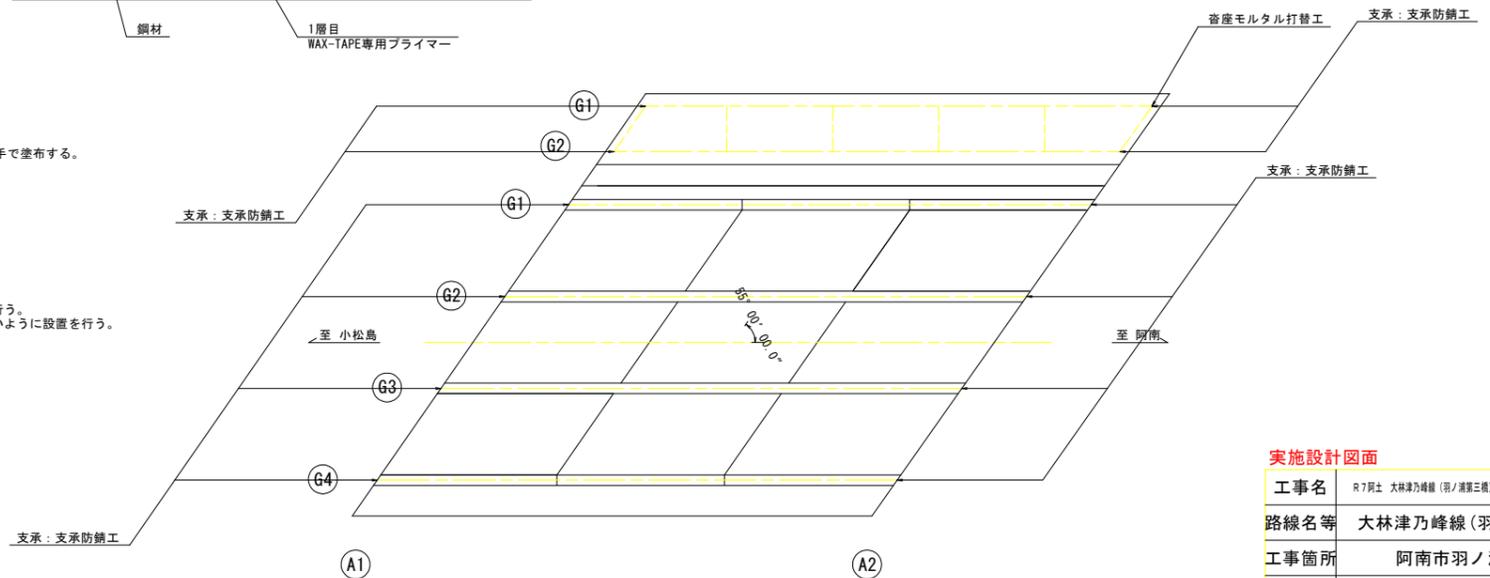
防食防水テープ施工フロー

防食テープ 設置数量表

部位名	サイズ(mm)	面積(m2)	枚数	小計(m2)
車道側支承				
① 正面	CAD計測	0.026	2	0.052
② 側面	"	0.006	2	0.012
③ 平面	"	0.118	1	0.118
		小計		0.182
		小計x8		1.456
側道橋支承				
① 正面	CAD計測	0.021	2	0.042
② 側面	"	0.004	2	0.008
③ 平面	"	0.109	1	0.109
		小計		0.159
		小計x4		0.636
合計				2.092



位置図



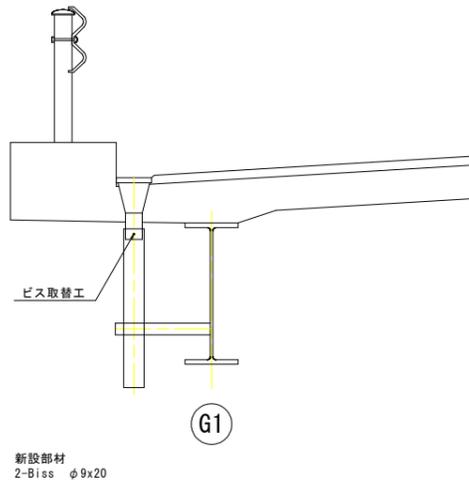
実施設計図面

工事名	R7既土 大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋) 阿南・羽ノ浦 橋梁修繕工事
路線名等	大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋)
工事箇所	阿南市羽ノ浦町宮倉
図面名	補修詳細図(その7)
縮尺	1:10 図面番号 8 / 10
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部(阿南)

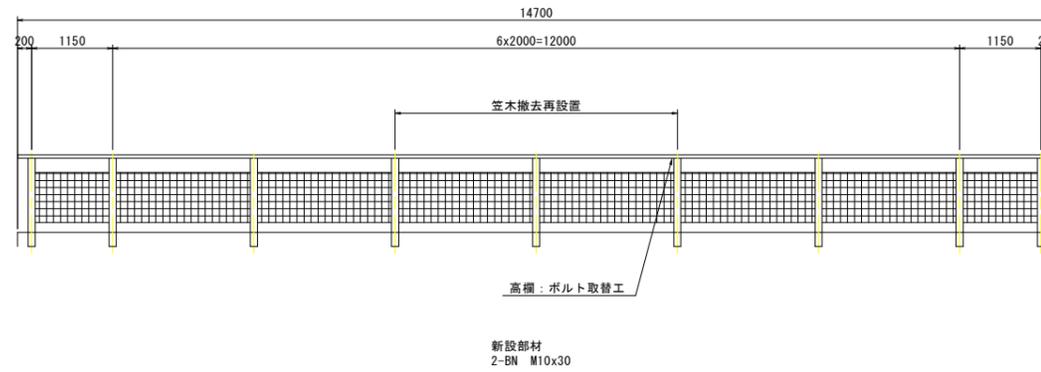
補修詳細図(その8) S=1:20

<付属物補修工>

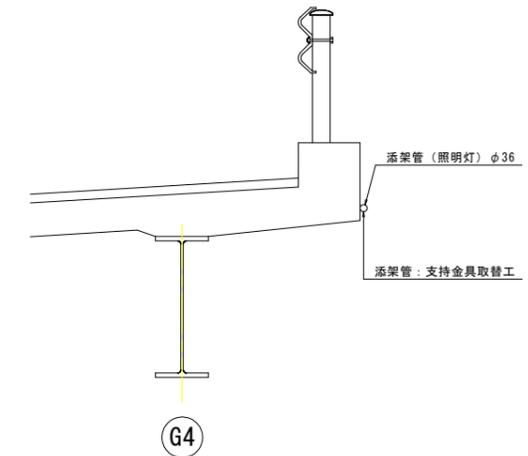
排水管ビス取替工



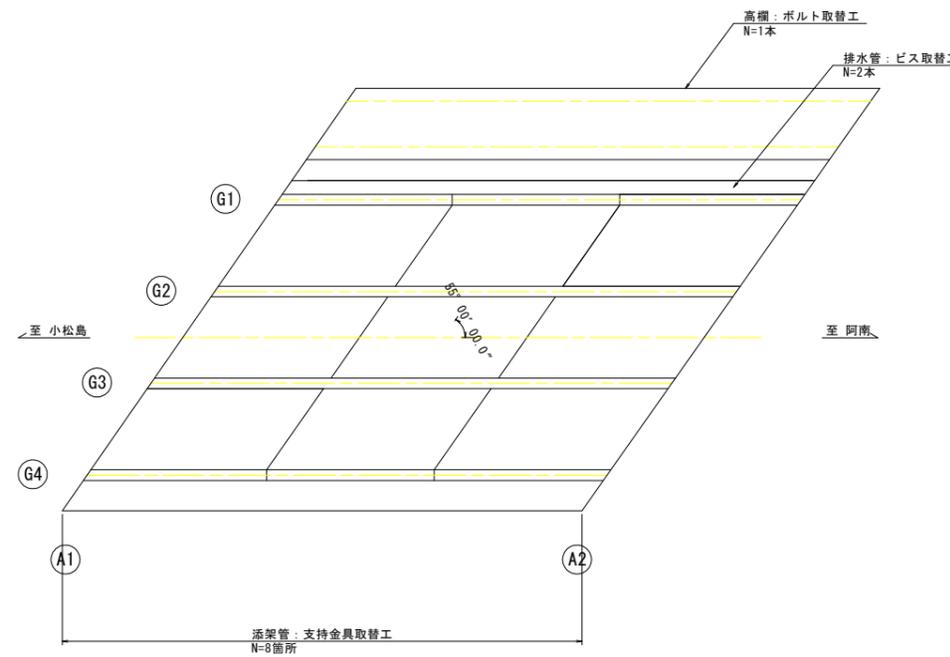
高欄ボルト取替工 S=1:50



添架管: 支持金具取替工



位置図



サドルベース材料表 (同等品)

部 材 名	寸 法	備 考
サドルベース	SBS39	SUS304
トラスビス	M4x6	SUS304
アンカー	M5x30	SUS304

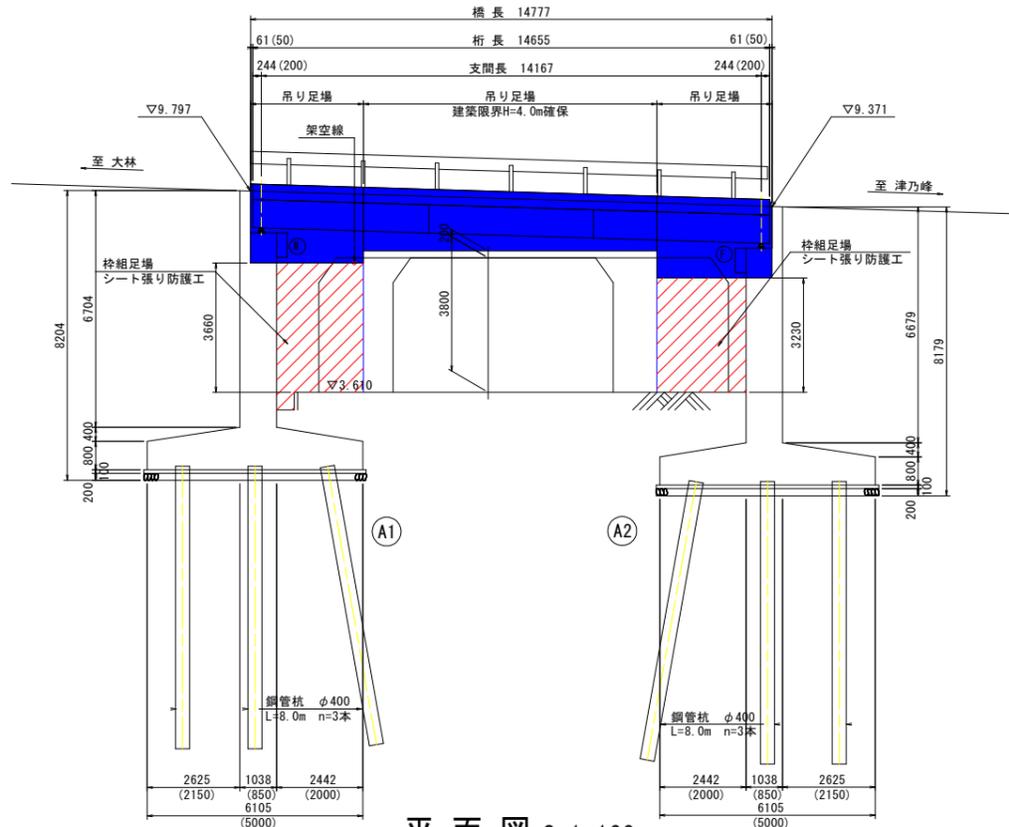
注記)
 1. 施工にあたっては現場の調査計測を行い、寸法については必要に応じて変更のこと。
 2. 使用材料については、発注者と協議の上決定すること。

実施設計図面

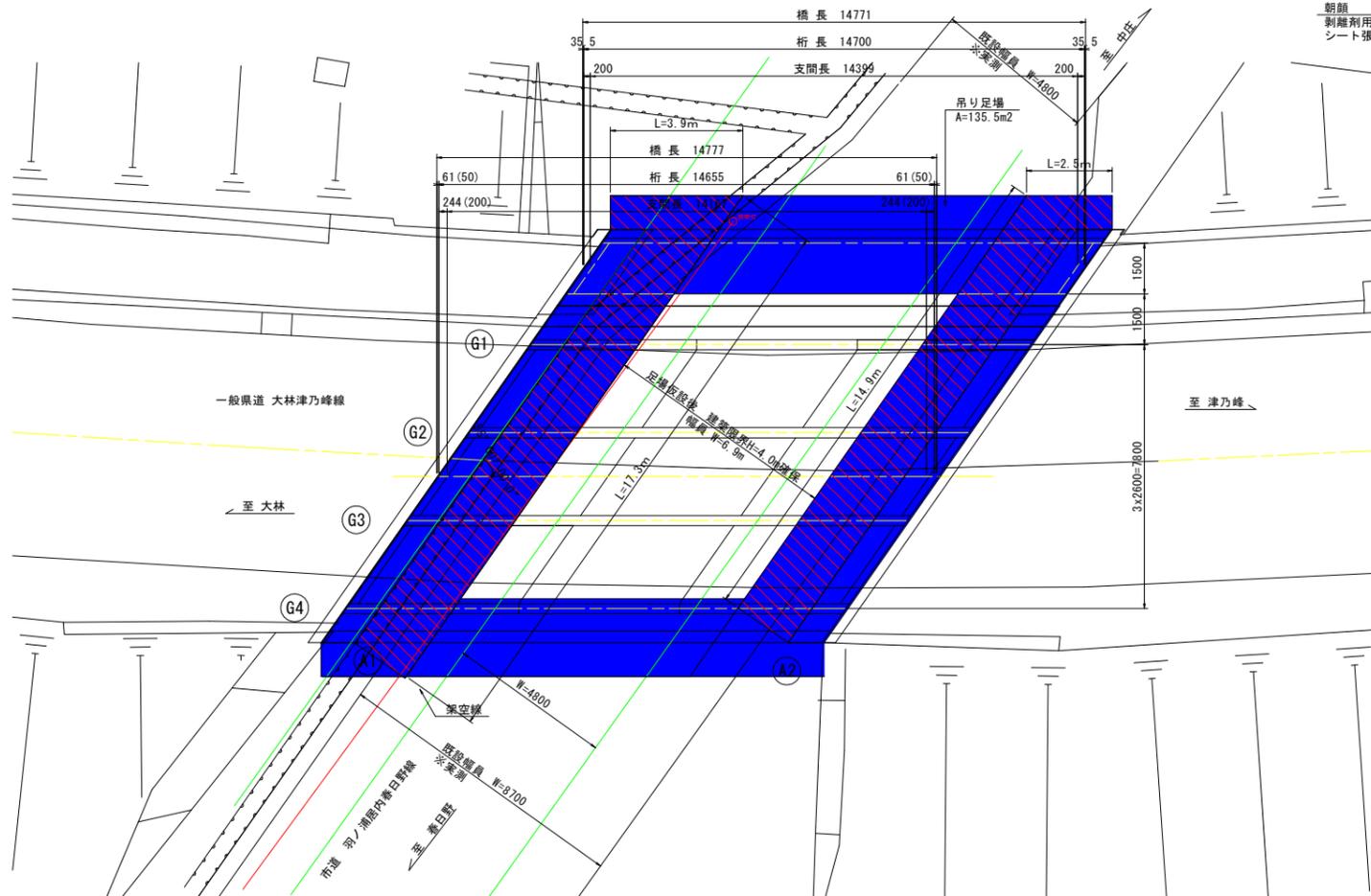
工事名	R7既土 大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋) 阿南・羽ノ浦 橋梁補修工事		
路線名等	大林津乃峰線(羽ノ浦第三橋)		
工事箇所	阿南市羽ノ浦町宮倉		
図面名	補修詳細図(その8)		
縮尺	1:20	図面番号	9 / 10
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部(阿南)		

羽ノ浦第三橋施工計画図

側面図 S=1:100

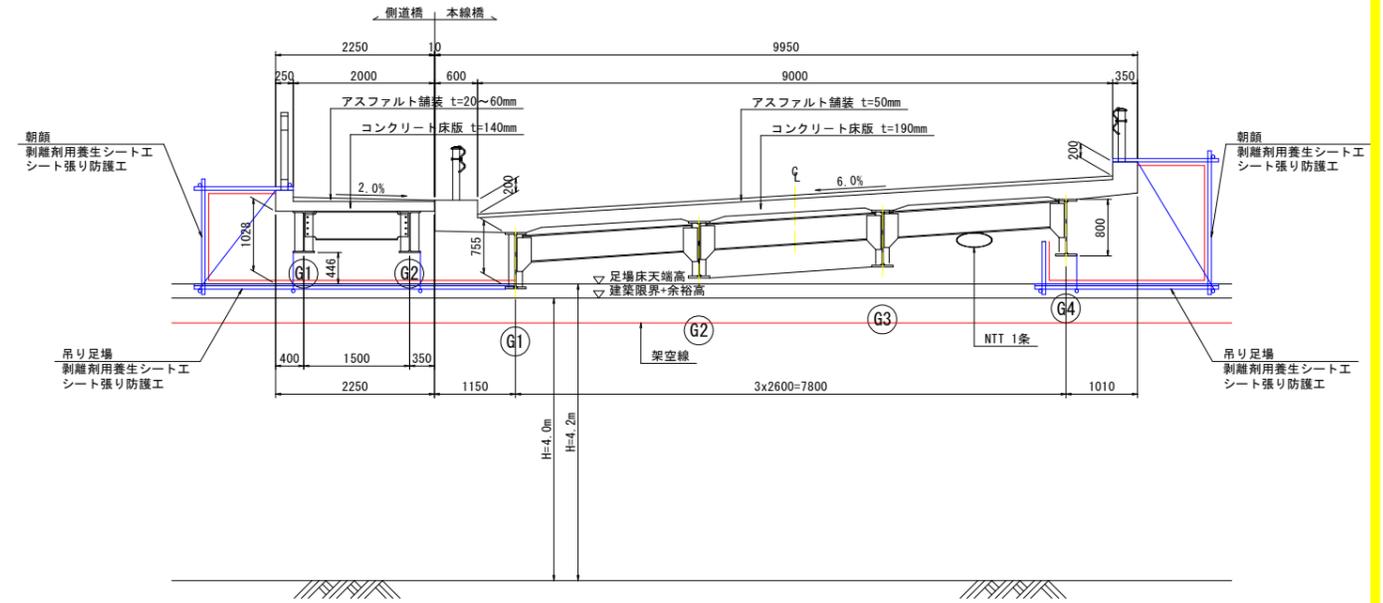


平面図 S=1:100

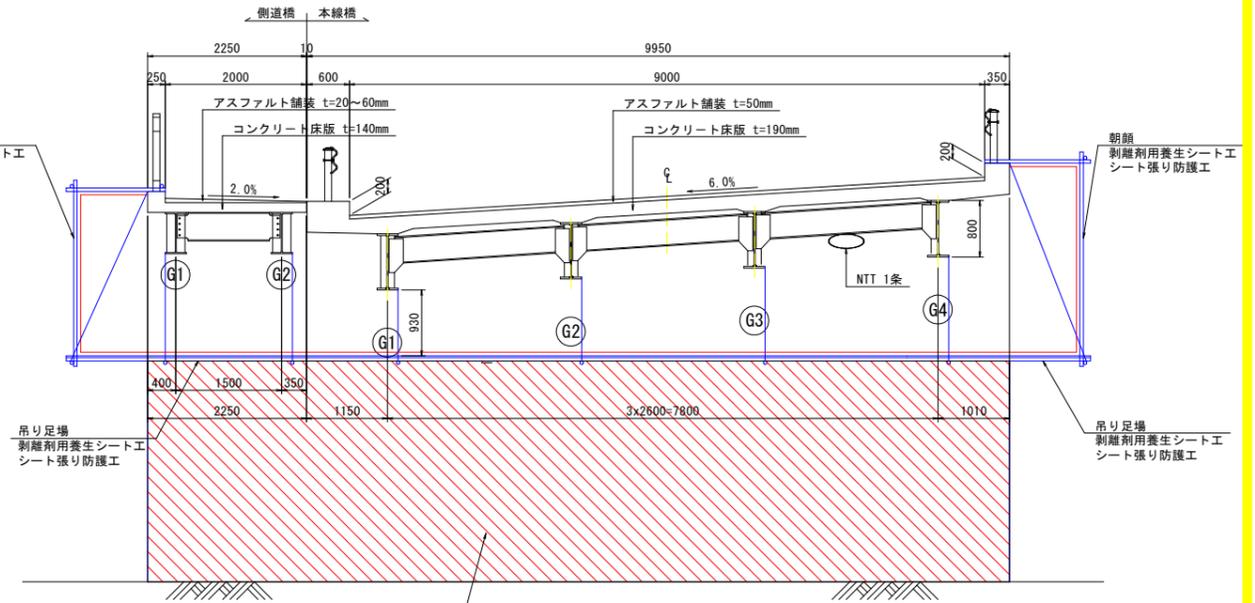


断面図 S=1:50

建築限界H=4.0m確保



桁端部



凡例



注記

1. 一般図は、竣工図および道路台帳付図を参考に作成。
2. 市道は、拡幅されていたため実測結果を反映している。

実施設計図面

工事名	R7 阿南市 大林津乃峰線 (羽ノ浦第三橋) 阿南・羽ノ浦 橋梁修繕工事
路線名等	大林津乃峰線 (羽ノ浦第三橋)
工事箇所	阿南市羽ノ浦町宮倉
図面名	羽ノ浦第三橋施工計画図
縮尺	図示 図面番号 10 / 10
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部 (阿南)